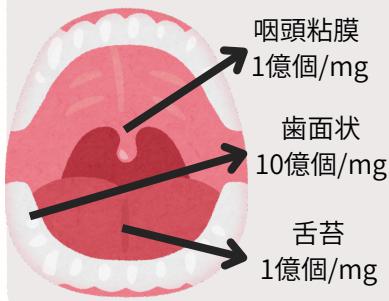




〈口腔内の細菌数〉



皆さん、洗口液を使用していますか？

日本での洗口液の使用率は36%で、アメリカの63%に比べるととても低い割合です。

口腔内表面積の割合は、舌、咽喉など粘膜で75%、歯の表面で25%です。

歯磨きでの機械的な細菌の除去と、洗口液による化学的な細菌の除去、両方が大切です。

SDCオススメ洗口液！

インフルエンザウイルスにも効果的！

歯科医院専売、歯医者さんでしか買えない洗口液です



ハビットプロ
¥1,400

高い殺菌効果とブラークの付着抑制効果、出血予防効果。



ワンショットプロ
¥1,600

就寝前にワンショットで手軽。スピード殺菌+長時間殺菌。



アライナークリアスプレー
¥2,200

5秒でスピード除菌&抗菌コート。消臭、汚れの付着防止

evidence

3つの薬用成分で歯ぐきを守る！

- ・ **殺菌成分CPC** 〈口腔内の原因菌を殺菌〉
- ・ **抗炎症成分GK2** 〈歯ぐきの腫れと炎症を防ぐ〉
- ・ **出血予防成分TXA** 〈歯ぐきからの出血を防ぐ〉



キシリトール

虫歯予防にオススメ

キシリトールは、苺やラズベリーにも含まれる代用甘味料です。

虫歯菌を弱らせる働きがあり、100%キシリトールガムであれば1回3粒を1日3回摂取を続けることで、虫歯菌の数を1年後には半分、2年後には1/4に減らしてくれます。

line up

SDC歯科医院専売キシリトール



check

甘味料としてキシリトール100%配合。(市販のガムはキシリトール50~60%配合です)

歯につきにくいガム。

歯科専売のため、リン酸カルシウムも市販より多く配合。

口腔機能発達不全症って知っていますか？

生まれた時からの母乳やミルク、離乳食の誤った与え方によって、お口周りの筋肉が上手く発達せずに、呼吸や嚥下に障害を生じてしまうと、口腔機能発達不全症となります。

その結果、歯並びに影響が出たり、いびき、肥満、低身長、舌足らずな発音、集中力の低下(学習障害)、口呼吸、無呼吸症候群という問題に繋がります。

それが発達障害や発育障害へと発展するとも考えられています。



口腔機能発達不全症には、お口のトレーニングが必要です。

小児はメンテナンスと一緒に、保険診療で口を閉じる力を測ったり、お口の筋肉を鍛えるトレーニングを受けることができます。内容は、口唇、舌、飲み込みのトレーニングで、簡単に自宅で毎日数分で出来るものです。

気になる方は、スタッフにご相談下さい。



MFT

お口のトレーニング

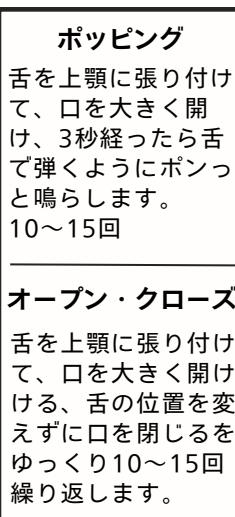
メンテナンスで行っている小児の口腔機能を発達させるトレーニング方法のご紹介です。



リップルトレーナー
リップルホールダーを口に咥えて、前、左右に10回づつ引っ張って、口を閉じる力を鍛えます。

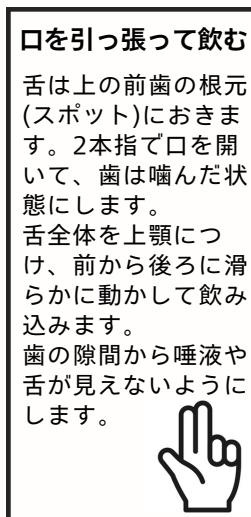


正面、左右、上下に空気をいっぱい入れて、10回づつ動かします。水を含んで同様に行い、口を細くして少しづつ吐き出します。



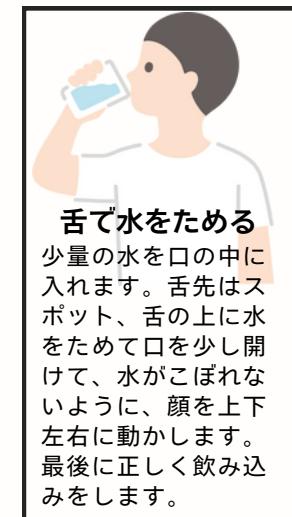
ポッピング
舌を上顎に張り付けて、口を大きく開け、3秒経ったら舌で弾くようにポンッと鳴らします。
10～15回

オープン・クローズ
舌を上顎に張り付けて、口を大きく開ける、舌の位置を変えずに口を閉じるをゆっくり10～15回繰り返します。



口を引っ張って飲む
舌は上の前歯の根元(スポット)におきます。2本指で口を開いて、歯は噛んだ状態にします。舌全体を上顎につけ、前から後ろに滑らかに動かして飲み込みます。

歯の隙間から唾液や舌が見えないようにします。



舌で水をためる
少量の水を口の中に入れます。舌先はスポット、舌の上に水をためて口を少し開けて、水がこぼれないように、顔を上下左右に動かします。最後に正しく飲み込みをします。

prevention

シーラント

check

生え始めの奥歯の永久歯の噛む面の溝は深いです。

その部分に汚れが溜まり、虫歯のリスクが高いです。

溝に樹脂を入れて、汚れが溜まりにくくする予防処置で、保険診療で行えます。



フッ素濃度の基準が変わりました！

今まで日本では、5歳までは500ppm、14歳までは950ppm、15歳以上は1450ppmのフッ素濃度を推奨していましたが、フッ素濃度の基準がこの度変わりました。



0歳～5歳

→950ppm

6歳～大人

→1450ppm

